

はしま議会だより

令和4年

8月1日発行

2022 AUGUST

No. 179

主な内容

- 第2回(5月)臨時会概要、議会構成、審議結果…………… 2P
- 第3回(6月)定例会概要、質疑、請願の審査、陳情・要望…………… 3P
- 一般質問 17議員が市の諸問題を問う…………… 4～9P
- 6月定例会審議結果・賛否一覧、表彰…………… 10P

第2回(5月)臨時会

羽島市議会構成

- ◇ 総務委員会(6人)
 - ◎ 南谷清司 ○ 毛利廣次
 - 後藤國弘 原 一郎
 - 豊島保夫 近藤伸二
- ◇ 民生文教委員会(6人)
 - ◎ 柴田喜朗 ○ 安井智子
 - 栗津 明 南谷佳寛
 - 堀 隆和 糟谷玲子
- ◇ 産業建設委員会(6人)
 - ◎ 花村 隆 ○ 川柳雅裕
 - 野口佳宏 藤川貴雄
 - 山田紘治 星野 明
- ◇ 議会運営委員会(6人)
 - ◎ 原 一郎 ○ 毛利廣次
 - 南谷清司 栗津 明
 - 野口佳宏 豊島保夫
- ◇ ごみ処理施設建設特別委員会(18人)
 - ◎ 南谷佳寛 ○ 後藤國弘
 - ◎ 野口佳宏 ○ 糟谷玲子
 - 柴田喜朗 安井智子
 - 花村 隆 星野 明
- ◇ 議会改革特別委員会(6人)
 - ◎ 野口佳宏 ○ 糟谷玲子
 - 柴田喜朗 安井智子
 - 花村 隆 星野 明
- ◇ 予算決算特別委員会(18人)
 - ◎ 安井智子 ○ 近藤伸二
 - ◎ 川柳雅裕 ○ 原 一郎
 - 柴田喜朗 安井智子
 - 堀 隆和 山田紘治
- ◇ 広報広聴委員会(6人)
 - ◎ 川柳雅裕 ○ 原 一郎
 - 柴田喜朗 安井智子
 - 堀 隆和 山田紘治



議長
南谷佳寛



副議長
後藤國弘



監査委員
藤川貴雄

第2回市議会臨時会は5月13日招集され、1日間の会期で開催されました。
 今臨時会には、専決処分の報告など10件が提出され、原案のとおり承認、同意及び可決しました。
 また、正副議長の改選が行われ、議長に南谷佳寛氏、副議長に後藤國弘氏が選ばれました。
 さらに、常任委員会等の各委員の選任を行い、議会構成を改めました。

第2回(5月)臨時会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件名	審議結果
	新庁舎建設特別委員会の廃止について	◎
報第1号	専決処分の報告について(専第6号 損害賠償の額を定めることについて)	—
報第2号	専決処分の報告について(専第7号 損害賠償の額を定めることについて)	—
承第3号	専決処分の報告並びにその承認について(専第2号 羽島市税条例等の一部を改正する条例について)	◎
承第4号	専決処分の報告並びにその承認について(専第3号 羽島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	◎
承第5号	専決処分の報告並びにその承認について(専第4号 羽島市介護保険条例の一部を改正する条例について)	◎
承第6号	専決処分の報告並びにその承認について(専第5号 令和3年度羽島市一般会計補正予算(第22号))	◎
議第32号	羽島市固定資産評価員の選任について	◎
議第33号	令和4年度羽島市一般会計補正予算(第1号)	◎
議第34号	動産の取得について	◎
議第35号	羽島市監査委員の選任について	◎
	閉会中の継続審査について	◎

第3回(6月)定例会

6月定例会で次のことが決まりました。

第3回市議会定例会は6月3日招集され、6月28日までの26日間の会期で開催されました。

今定例会には、条例の改正など9件が提出され、本会議、委員会で慎重に審議の結果、原案のとおり可決しました。

今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

羽島市水道事業給水条例及び羽島市下水道条例の一部を改正する条例について

令和5年1月使用分から下水道使用料が変わります。

下水道使用料の適正化と消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)に対応するため、条例を改正します。

問 受益者負担として使用料で賄うべきと考えられる項目は。また、使用料改定によりどの程度賄える見込みか。

答 下水道事業では汚水処理場を管理運営するための経費や人件費などの維持管理費と資産の減価償却費や企業債利子などの資本費が使用料対象経費となる。令和3年度から7年度までの5年間の使用料対象経費を試算したところ、

	基本料金		従量料金	
	水量	料金	水量	料金
改正前	10m ³ まで	1,100円	10m ³ を超える場合	1m ³ につき105円
改正後	10m ³ まで	1,530円	10m ³ を超える場合	1m ³ につき147円

(消費税除く)

約20億円となり、改定前の使用料では7割程度しか賄うことができず、改定後においては全額を賄うことができると見込んでいます。

問 下水道使用料の見直しに伴う水道料金の減免制度の適用を受けらるにあたっての申請手続きは。

答 水道を使用されている人の減額については特に手続きの必要はなく、令和5年1月使用分から2年間、基本料金の減額を適用する予定である。井戸等をご使用の方は、減額申請書を提出していただく。減額申請書を提出していただく。該当する人に個別に申請書を送付し、手続きについて案内したいと考えている。

質疑

令和4年度補正予算

問 市立学校、認定こども園等の給食費の減額の期間は。

答 令和4年8月から12月までを予定している。

請願の審査

【不採択とされたもの】

- ・議員定数の削減に関する請願
- ・消費税を当面5%に引下げることとを求める請願
- ・消費税のインボイス制度実施中止・延期を求める請願

陳情・要望

- ・夫婦・親子同氏を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書提出についての陳情
- ・国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
- ・陳情書(女性トイレの維持及びその安心安全の確保について)
- ・コロナ感染拡大防止策に関する陳情書
- ・沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

インターネットでLIVE中継がご覧いただけます。



<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima2/WebView/rd/council.html>

聴覚に障がいのある方も議事を傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。また、音が聞き取りにくい方へFM受信機とヘッドホンを貸し出します。



羽島市議会
公式Facebookページ



マチイロ

はしま議会だよりを
アプリで配信

令和4年
6月定例会

一般質問

17議員が市の諸問題を問う！

- 1 藤川 貴雄 議員 4
- 2 栗津 明 議員 4
- 3 柴田 喜朗 議員 5
- 4 原 一郎 議員 5
- 5 豊島 保夫 議員 5
- 6 花村 隆 議員 6
- 7 星野 明 議員 6
- 8 堀 隆和 議員 6
- 9 後藤 國弘 議員 7

- 10 糟谷 玲子 議員 7
- 11 安井 智子 議員 7
- 12 川柳 雅裕 議員 8
- 13 近藤 伸二 議員 8
- 14 毛利 廣次 議員 8
- 15 南谷 清司 議員 9
- 16 山田 紘治 議員 9
- 17 野口 佳宏 議員 9

※一般質問については議員の責任において掲載しております。
内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。

公共施設の管理運営について



ふじかわ たかお
藤川 貴雄
自民清和会

問 今後の公共施設マネジメントの方針は。

答 施設更新費用の将来推計によると大幅な財源不足が見込まれることから、具体的に公共施設の整理・合理化について着手していかなくてはならない時期を迎えている。

人口をはじめとした確な将来推計に基づき、必要な社会資本整備に注力した市政運営に努めることが肝要であると考えており、引き続き、老朽化が進む公共施設について、順次そのあり方の検討を進めていく。学校に関しても、令和4年度、組織改編により学校教育の充実強化のため、課題の洗い出し等に着手するなど、将来を見据えた学校教育のあり方について検討を進めていく。

市民協働によるまちづくりについて

問 ウイズコロナ・アフターコロナ社会におけるまちづくりの進め方は。

答 コロナ禍により、地域活動や市の事業が中止や延期となるなどの影響があり、地域のつながりが希薄化したとの声を聞いている。引き続き、市民協働による社会を推進するため、よりきめ細やかな地域コミュニティ機能の構築を目指すし、機運の醸成を図っていきたいと考える。

街づくりについて



あわづ あきら
栗津 明
自民クラブ

問 山車会館、町屋ギャラリー等の施設は市民にとって必要な施設である。ぐるっと羽島等の施設を含めると、経費が年間5000万円以上かかっている。これから10年後の街づくりをどのように考えているか。

答 地域の人々や各種団体、経済界などがそれぞれ主体的に携わることが必要と考える。

濃尾大花火の中止決定について

問 濃尾大花火の経費はいくらか。

答 羽島市花火大会実行委員会の令和元年度予算は2495万7000円で、市の負担額は700万円。

問 どのような経緯で中止となったか、見解は。

答 実行委員会で決定されたことである。

指定管理団体について

問 地域振興公社の理事長の報酬が約50%増額したが、副市長は理事として理事会で発言できるのでは。市の監督権限は。

答 報酬額については、指定管理者自らが経営状況の中で判断することであり、労働法規等に抵触しない限り、市から特に指導等行わない。



しばた よしろう

柴田喜朗

市政自民クラブ

新型コロナウイルスへの対応について

問 入院患者との面会について、現在は原則面会禁止だが、今後どうか。

答 新型コロナウイルスの院内感染予防から、面会を原則禁止としている。県が定めるまん延状況に応じ、制限付きで面会の緩和をしている。また、タブレットやスマートフォンを持っている人が、情報機器を通じてコミュニケーションが取りやすいよう、WiFi環境を整備した。

問 現状の病床と、発熱外来の利用状況は。

答 稼働病床の病床数は、急性期病床132床、地域包括ケア病床112床の計244床であるが、県の要請で確保している新型コロナウイルス感染症専用病床において24床を休止扱いしていることから、実質的には220床の稼働状況である。発熱外来の患者は令和3年度の実績で年間1103人、1日平均3・5人である。

問 4回目ワクチン接種の18歳以上60歳未満の基礎疾患がある人、重症化の懸念があると診断された人、医療従事者への対応は。

答 市では、初回接種時の調査で基礎疾患がある人と回答した人のうち、3回目接種を済ませた18歳以上60歳未満約2200人に、接種から5カ月をめどに接種券を発送する。医療従事者は4回目接種の対象にはなっていない。

(5)



はら いちろう

原 一郎

公明党

障がい者の社会参加・外出支援について

問 障がい者割引等を行う市有施設において「ミライカード」を確認書類として有効にすることについて、所見は。

答 市の施設やサービスの利用にあたり、障がい者の確認手段としてミライカードの活用が有効であるかどうかについては、今後、導入済みの他自治体等を参考に、施設等の所管部署と協議していく。

奨学金返還支援制度について

問 企業による奨学金返還支援制度は、2021年4月より、企業から日本学生支援機構に直接送金する制度に改められた。これにより、企業にとっては支援した分を損金算入することができ、返還している社員にとっては、従来より税負担が軽減される。市内企業へ、この支援制度を周知活用してはと考えるが、所見は。

答 この制度を利用する企業にとっては、申請により日本学生支援機構のホームページに社名や支援内容、企業紹介ページなどが掲載され、企業イメージの向上や人材募集、さらに法人税の軽減のメリットが見込まれる。今後、羽島商工会議所へ会報やホームページ等による制度の周知を働きかけたいと考えている。



とよしま やすお

豊島保夫

元気・羽鳥クラブ

学校教育について

問 スポーツ庁の有識者会議は、休日の部活動指導を地域や民間など学校外にゆだねる「地域移行」を、2025年度までに実施すべきだと提言したが、市の今後の計画は。

答 竹鼻中学校とはしまなごみスポーツクラブの取り組みを踏まえ、竹鼻中学校以外の中学校・義務教育学校及び他の2つの総合型地域スポーツクラブにおいても、令和5年度から段階的に移行することを検討している。

問 学校給食費の保護者負担の軽減を図るため、地方創生臨時交付金を活用しては。

答 負担軽減となるよう、地方創生臨時交付金を有効に活用する方法について検討していく。

問 学校給食において、プラスチック製のストローを使わない動きが出ているが、考えは。

答 岐阜県牛乳事業協同組合や委託業者に改善を働きかけていきたいと考えている。

問 学校図書室での児童・生徒用の新聞の配備数と今後の交付税措置の増加による配備数は。

答 小学校・義務教育学校前期課程に子供新聞1紙及び新聞1紙以上を、中学校・義務教育学校後期課程に新聞2紙以上を配備している。令和5年度以降は小学校2紙以上、中学校3紙以上の新聞を配備することを検討していく。



はなむら たかし
花村 隆
日本共産党
羽島市議団

下水道使用料について

問 6月定例会に上程されている羽島市下水道条例の一部を改正する条例では、下水道基本料金を1100円から1530円に、従量料金は1立方メートル当たり105円を147円に引き上げる。率にして39・5%という大幅な引き上げだが、引き上げの理由は。

答 現在の下水道事業会計は、使用料で賄うべき費用が賄われていないため、一般会計からの繰入金に頼った経営状況であり、下水道使用者からの受益者負担の原則に沿った使用料負担の必要がある。また、総務省からは早急に使用料の適正化に取り組むことなどに留意して経営にあたるよう指導を受けている。上下水道事業経営審議会の答申を受けたことから、受益者負担の原則及び市民負担の公平性を図る観点から下水道使用料の改定を実施する。

問 引き上げによる市民への影響はどれだけか。

答 下水道使用料収入の増収額は税抜き約1億円となる。月20立方メートル使用する場合、現在の月額2150円から850円増の3000円となる。このため市民生活への影響を考慮し、水道基本料金を860円のうち半額に当たる430円を2年間減額する市独自の激変緩和措置を実施する予定である。



ほしの あきら
星野 明
自民睦友会

岐阜羽島インター南部地区の企業誘致について

問 直近3年間の進出企業は。

答 直近の進出状況としては、令和3年5月に流通産業業務地区内において、敷地面積約2万平方メートルを有する大型物流倉庫が操業を開始している。これにより地区内の立地可能な用地の9割超の用地において、7社が立地し事業を展開している。

問 企業に対しての優遇措置策は。

答 本地区の企業立地に対する優遇措置としては、投下固定資産及び新たに常時雇用する従業員数について要件を満たした企業に対し、投下固定資産に賦課される固定資産税及び都市計画税相当額の半額を、4年間にわたり交付している。

問 市街化区域との固定資産税の違いは。

答 固定資産税については、令和4年度は市街化区域への編入に伴う影響はない。6年度に固定資産税の評価替えがあり、固定資産税や都市計画税両方とも市街化区域への評価額に見直しされるような状況になり、影響がでてくるかと考える。



ほり たかかず
堀 隆和
正統派クラブ

自治会工事要望の取り扱いと実施について

問 工事施工実施基準に適合していても、実施予定が△であったり×であったり、市民サービスの低下は著しい。令和元年度からは、積み残しが増えたということで、舗装と側溝については、各自治会5件までとのことである。積み残し要望工事をそのまま放置されるのか。

答 当該年度に基準適合し施工できない要望工事は、翌年度以降の対応について要望書の取り扱いも含め、自治会と協議していく。

粗大ごみのみ出しについて

問 家庭系ごみ有料化後の粗大ごみの搬入件数と高齢者等の運搬費助成件数は。

答 令和3年10月から4年5月までの粗大ごみ搬入件数は、月平均368件であり、高齢者世帯等の収集運搬助成件数は、同8カ月間で15件である。

問 粗大ごみの収集のあり方について、令和3年12月定例会で、今後検討していくと答弁された後6カ月が経過したが、どのように検討されたのか。

答 現在、他の自治体の実例を調査し、排出負担の軽減や受益者負担の適正化を勘案しながら検討している。



ごとう くにひろ
後藤 國弘
自民清和会

消防団等組織改革について

問 災害発生時に非常備組織として対応する、消防団、水防団について、指揮命令系統がそれぞれあるため、常日頃からの連携の必要性についての考え、及び、実情に即した団の組織改革についての考えは。

答 消防団、水防団の連携については、今後それぞれの幹部による意見交換会を行い、緊密な連携を取りながら、大規模災害に備えていきたいと考える。組織改革については、処遇改善や組織体制の見直しなど協議を行っている。

行政のDXについて

問 行政のDX推進の鍵となるマイナンバーカード普及についての取り組みと、テレワーク用PCを災害時にも避難所で活用できるように台数を増やす予定は。

答 マイナンバーカード普及については、市役所の休日開庁日の第2、第4日曜日の交付に加えて申請の受付を開始し、市内大型商業施設での申請受付や希望する企業や地域の団体への出張申請も行う予定である。テレワーク用PCについては、ワークライフバランスの推進や非常時における業務継続に向け、利用率の向上に努めていきたいと考える。

(7)



かすや れいこ
糟谷 玲子
公明党

女性デジタル育成プランについて

問 コロナ禍で厳しい状況にある女性の就業獲得や所得向上に向けて、就労に直結するデジタルスキルを身に着けた女性を育成する「女性デジタル人材育成プラン」導入の考えは。

答 今回、国の策定を受け、内容及び先進自治体の事例についても研究を進め、市の実情を踏まえた取り組み可能な施策について、庁内関係部署による協議を進めていきたいと考える。

公共施設のトイレについて

問 男性用トイレに前立腺がんなどの病気で尿漏れパッドを使っている方が捨てることができずサニタリーボックスを設置する考えは。

答 男性用サニタリーボックスを、新庁舎の男性用トイレのそれぞれ1カ所以上の個室に設置する。利用状況等を踏まえて市内公共施設への設置拡大に努めていきたいと考える。

子宮頸がんワクチンについて

問 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の対象となる9学年の方への対応は。

答 キャッチアップ接種の対象者2561人の方には、令和4年7月に予診票と説明文書により接種勧奨を予定している。



やすい ともこ
安井 智子
自民清和会

児童生徒の安全、安心について

問 児童生徒の交通事故の発生状況及び事故の傾向は。

答 令和元年度40件、2年度38件、3年度21件と減少傾向。中学生は登下校時、小学生は下校後に出かけた際に事故に遭う傾向がある。

防災について

問 内水氾濫リスクの高い箇所への対応は。

答 土のうステーションの設置や水管理者による操作性の良い巻き上げゲートの新設などにより内水対策を講じている。

健康ポイントについて

問 特定健診やがん検診、健康づくり等に参加して景品が当たる抽選に応募することができる健康ポイントの参加状況は。

答 応募延べ件数は、令和元年度762件、2年度338件、3年度168件。

問 検診を受けない場合でも、楽しみながらポイントを増やしていくことで抽選に応募できるコースを加えてはどうか。

答 市民の健康づくりや特定健診・がん検診の受診を促し、健康寿命を延ばすため、応募要件を変更する予定はない。



かわやなぎ まさひろ
川柳雅裕
元気・羽島クラブ

市民に利用しやすく、より親しめる新庁舎に向けて

問 新庁舎が完成して半年が経過し、利用される皆さんから、コンシェルジュの常駐によるスムーズな窓口案内などが好評との声を聞く。一方で、駐車場に関する前回の質問から、新たな意見が寄せられた。

障がい者支援に携わる人からは玄関付近の「溝」が点字ブロックに沿ってある危険性や、旧北庁舎方面から来庁する人にとっての点字ブロックが未整備であることが指摘された。

また、旧本庁舎の北西部にある旧駐車場出入口は歩行者の通行が可能と聞いているが、トラ柵が目立ち、歩道として認識されにくいとの指摘もあった。案内、誘導を整備し、歩行者の安全を高めては。

答 点字ブロックの必要な人には新庁舎東側の専用駐車場を利用してもらうよう周知啓発に努める。

現在、駐車場内の歩行をできるだけ避けてもらうよう、旧本庁舎ロータリーの一部を徒歩通行区域として確保している。今後、案内板の増設など、安全かつ分かりやすい誘導に努めていきたいと考える。



こんどう しんじ
近藤伸二
自民クラブ

職員の退職について

問 職員の給与及び職員数については。

答 羽島市のラスパイレース指数は93・1で、県内21市中第20位。人口1万人当たりの職員数を県内他市と比較した場合、県下で最も少ない。

問 過去3年度の自己都合退職者については。

答 一般行政職で自己都合退職者数は、令和元年度9人、2年度11人、3年度5人。

問 退職者の減少に向けての取り組みは。

答 自己都合退職は、それぞれ一身上の都合による。特段何らかの措置を講ずる術はない。

消防職員の退職について

問 消防署職員の自己都合退職者については。

答 過去3年度については、令和元年度は1人、2年度は5人、3年度は5人。

問 過去に「災害出動には支障がない」と答弁しているが、勤務体制や災害出動に支障は。

答 当日出勤の勤務者を、消防署については12人以上、消防署北分署及び南分署についても4人配置。現行の勤務人員で支障を生じていない。

問 職員の不足状態が続くと職務に対するモチベーション低下等により離職者が増えるのでは。

答 自己都合退職に講ずる術はない。計画的な採用を進めており、募集を行っている。



もうり ひろつぐ
毛利廣次
市政自民クラブ

羽島市の活性化について

問 市にも戦国三英傑の多くの痕跡が残されていると思う。文化財の保存や活用で、観光につなげたり生涯学習にもつながると考えるが学芸員の配置については。

答 地域における調査研究活動と連携を図ることで、文化財の保全や活用、保護の支援などを考えている。

問 徳川家康を題材にした大河ドラマが放送予定である。市内では、竹ヶ鼻城跡だけでなく、秀吉が水攻めを行った際の一夜堤の跡、市南部には大須観音、八神城や金宝寺、三七松など、観光につなげるチャンスと考えるが。

答 県では、戦国武将観光をテーマとした広域周遊観光が推進され、県作成のガイドマップなどに詳しく紹介されている。今後も、市観光協会と連携し、市内の名所や史跡だけでなく特産品、グルメなども情報発信に努めていく。

部活動の地域移行について

問 学校区と競技種目の平等性について考えは。

答 平日と休日異なる種目を選択する生徒や他の学校区のスポーツクラブを選択する生徒に対応できるよう、望ましい仕組みづくりの検討が必要になると考える。



みなたに きよし

南谷清司
自民清和会

中学校部活動の地域移行について

問 部活動地域移行の本来の目的は、休日がないなど教員の厳しい勤務環境から教員不足が一層深刻になることや、少子化が進む中で部活動の種目数や部員数が減ることなどに対し、学校の教育水準や中学生のスポーツ環境の持続可能性を確立することである。教育委員の所感は。

答 市内全中学校等で休日部活動の地域移行について、教育委員全員の賛同を得るとともに、複数の意見を聴取している。

問 休日部活動の地域移行に対する市の対応は。

答 保護者負担や運営費の財源の課題について認識しており、対応を検討するとともに、市から国へ要望を行っている。

問 中体連主催大会において令和5年度から参加資格が緩和されることについて、所見は。

答 県大会、全国大会等に学校またはクラブチームとして参加できることは、生徒の多様なニーズに応じ、学校や地域の状況を踏まえたより良いスポーツ環境を提供する手立ての一つで、生徒にとって望ましいことと考えている。

問 今後の学校部活動のあり方検討の方針は。

答 立ち上げ予定の将来の学校教育のあり方を検討する会議においても、関係者などから意見を聞き検討していきたいと考える。



やまだ こうじ

山田紘治
自民クラブ

旧庁舎について

問 羽島市旧本庁舎は、昭和34年に建築され、日本のモダンイズム建築を代表する羽島市出身の建築家坂倉準三氏の設計であり、昭和35年には日本建築学会賞を受賞し、平成15年には、一般社団法人ドコモモ100選に選定され、設計図は現在、文化庁国立近代建築資料館に保存されるなど、いかに建築学的並びに文化財的にも極めて重要な建物であるかがうかがわれる。

文化庁により平成27年から近代建築物緊急重点調査事業が開始され、この調査の影響もあり令和2年10月には坂倉準三設計の旧神奈川県立近代美術館が国の重要文化財に指定された。坂倉準三氏作品の中で日本建築学会賞を受賞したのは旧本庁舎のみで、旧神奈川県立近代美術館に続く文化財候補と考えられると同団体は示している。国の重要文化財の指定を進めては。

答 歴史上の価値や学術上の価値だけでなく安全性の確保のほか、利用目的や財政負担の見通し、地域活性化への貢献度、市民の意向など様々な視点に立って総合的に判断する必要がある。国の重要文化財に指定されるためには、市及び県の文化財に指定されることが必須となっており、現時点で市が判断できる段階ではない。



のぐち よしひろ

野口佳宏
自民清和会

地域防災力の向上について

問 自主防災組織が行う取り組みの情報共有と防災組織の強化に向けた取り組みは。

答 災害時に主体的な対応ができるよう、毎年役員の交代時期である4月に「活動計画書」の提出をお願いしている。この「活動計画書」は、組織内での役割や活動事例など基本的なひな形である「自主防災活動の手引き」を参考にしながら、組織の編成や訓練計画などを記入してもらう内容としている。

自主防災組織の中には、地域の身近な集会施設や地元企業との協定締結による社屋などを活用した避難所を準備したり、水害時に企業社屋の高所へと避難できる一時避難所を設けているところもあり、こうした先進事例を他の自主防災組織へ情報提供するため、令和4年度より「活動計画書」の様式に「地域独自の避難所」と企業との協定締結」の項目を追加し、記載してもらおうという見直しを行った。活動計画の内容の充実とともに、毎年自主防災組織リーダー研修会を開催することで、自主防災活動の先進事例や最新の防災知識について認識を深め、情報共有を行いながら、地域防災力の底上げを図っていく。

第3回(6月)定例会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件名	審議結果
報第3号	令和3年度羽島市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報第4号	令和3年度羽島市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
議第36号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	◎
議第37号	羽島市水道事業給水条例及び羽島市下水道条例の一部を改正する条例について	○
議第38号	令和4年度羽島市一般会計補正予算(第2号)	◎
議第39号	市道路線の認定について	◎
議第40号	令和4年度羽島市一般会計補正予算(第3号)	◎
議第41号	令和4年度羽島市病院事業会計補正予算(第1号)	◎
議第42号	令和4年度羽島市一般会計補正予算(第4号)	◎
請第2号	議員定数の削減に関する請願	×
請第3号	消費税率を当面5%に引下げをを求める請願	×
請第4号	消費税のインボイス制度実施中止・延期を求める請願	×

議案の賛否一覧

※賛否が分かれたもののみ掲載しています。

議案番号	件名	審議結果	南	柴	栗	毛	後	原	川	安	野	南	豊	堀	藤	山	花	糟	星	近
			谷	田	津	利	藤	柳	井	口	谷	島	隆	川	田	村	谷	野	藤	
議第37号	羽島市水道事業給水条例及び羽島市下水道条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	○	○
請第2号	議員定数の削減に関する請願	×	○	○	●	○	○	●	●	○	○	議	●	●	○	●	●	●	●	●
請第3号	消費税率を当面5%に引下げをを求める請願	×	●	●	●	●	●	●	○	●	●	議	○	●	●	●	○	●	●	●
請第4号	消費税のインボイス制度実施中止・延期を求める請願	×	●	●	●	●	●	○	●	●	議	○	●	●	●	○	●	●	●	●

表彰

全国市議会議長会と東海市議会議長会より2議員が表彰されました。

【議員在籍15年表彰】

- ・山田 紘治 議員
- ・花村 隆 議員

羽島市議会公式 YouTubeチャンネルを開設しました。

<https://www.youtube.com/channel/>

UC-cTk-Xu6X8iChMe5Hzryrw



市議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、9月1日(木) 午前10時開会の予定です。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会
会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会
議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant>

/hashima/WebView/rd/council.html



発行：羽島市議会

〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>

編集：広報広聴委員会



この議会だよりは、植物油インキを使用しています。